

保護地区（A、B地区）、緩衝地区（C地区）における 「奈良のシカ」の捕獲状況

令和4年度の奈良の鹿愛護会（以下、愛護会）によるシカの捕獲状況について、「令和5年度 奈良市鹿害対策協議会総会 資料」より整理を行った。

資料によると、令和4年度の愛護会による緊急出動（市民から通報があり、職員が現地に出動する）回数は1,680回で、その多くが傷病鹿等への対応となっているが、農作物被害防止を目的とした捕獲柵・捕獲檻（図1）への出動回数は54回、農地・市街地といった農業被害・生活被害対策等への緊急出動回数は、429回となっており、これらは主にC地区へ出動するものである。また、このうち鹿苑への収容頭数はそれぞれ54頭、24頭、計78頭となっている（表1）。

地域別の内訳は高畑町、白毫寺町、紀寺町、鹿野園町などの南部が最も多く236回、法蓮町、三条町、船橋町などの西部が173回、川上町、奈良阪町、法蓮佐保山、青山町などの北部が72回、中ノ川町、生疏里町、大慈仙町、誓多林町などの東部が2回であった。このうち、鹿苑への収容頭数は78頭で、地域別にみると北部が最も多く56頭、南部が14頭、東部が1頭、西部が7頭であった（表2、図2）。年度別に見ると、農業被害・生活被害対策等への緊急出動回数が最も多かったのは、令和2年度の1,048回、次いで令和3年度の605回であった。捕獲柵・捕獲檻については、平成30年度の102回が最も多かった（表3）。

表1 令和4年度の愛護会による緊急出動回数と鹿苑収容頭数（対策別）

区分	主な出動先地区区分	総緊急出動回数	鹿苑収容頭数
捕獲柵・捕獲檻※	C地区、B地区(雑司町等)	54	54
農地・市街地	C地区、B地区(紀寺町等)	429	24
人身等被害防止	A地区、B地区(若草山)	231	491
傷病鹿等	A地区	966	97
合計		1,680	666

※「令和5年度 奈良市鹿害対策協議会総会 資料」より作成

※ 捕獲柵・捕獲檻の位置は図1参照

表2 令和4年度の愛護会による農業被害・生活被害対策等に対する緊急出動回数と鹿苑収容頭数（地区別）

区分※	総緊急出動回数	鹿苑収容頭数
北部	72	56
南部	236	14
東部	2	1
西部	173	7
合計	483	78

※ 「令和5年度 奈良市鹿害対策協議会総会 資料」より作成

※ 各区分の位置は図参照

北部：川上町、奈良阪町、法蓮佐保山、青山町など

南部：高畑町、白毫寺町、紀寺町、鹿野園町など

西部：法蓮町、三条町、船橋町など

東部：中ノ川町、生疏里町、大慈仙町、誓多林町など

表3 愛護会による農業被害・生活被害対策等に対する緊急出動回数（年度別）

区分	捕獲柵・捕獲檻	農地・市街地	合計
平成30年度	102	172	274
令和元年度	74	425	499
令和2年度	100	948	1,048
令和3年度	87	518	605
令和4年度	54	429	483

※「令和5年度 奈良市鹿害対策協議会総会 資料」より作成

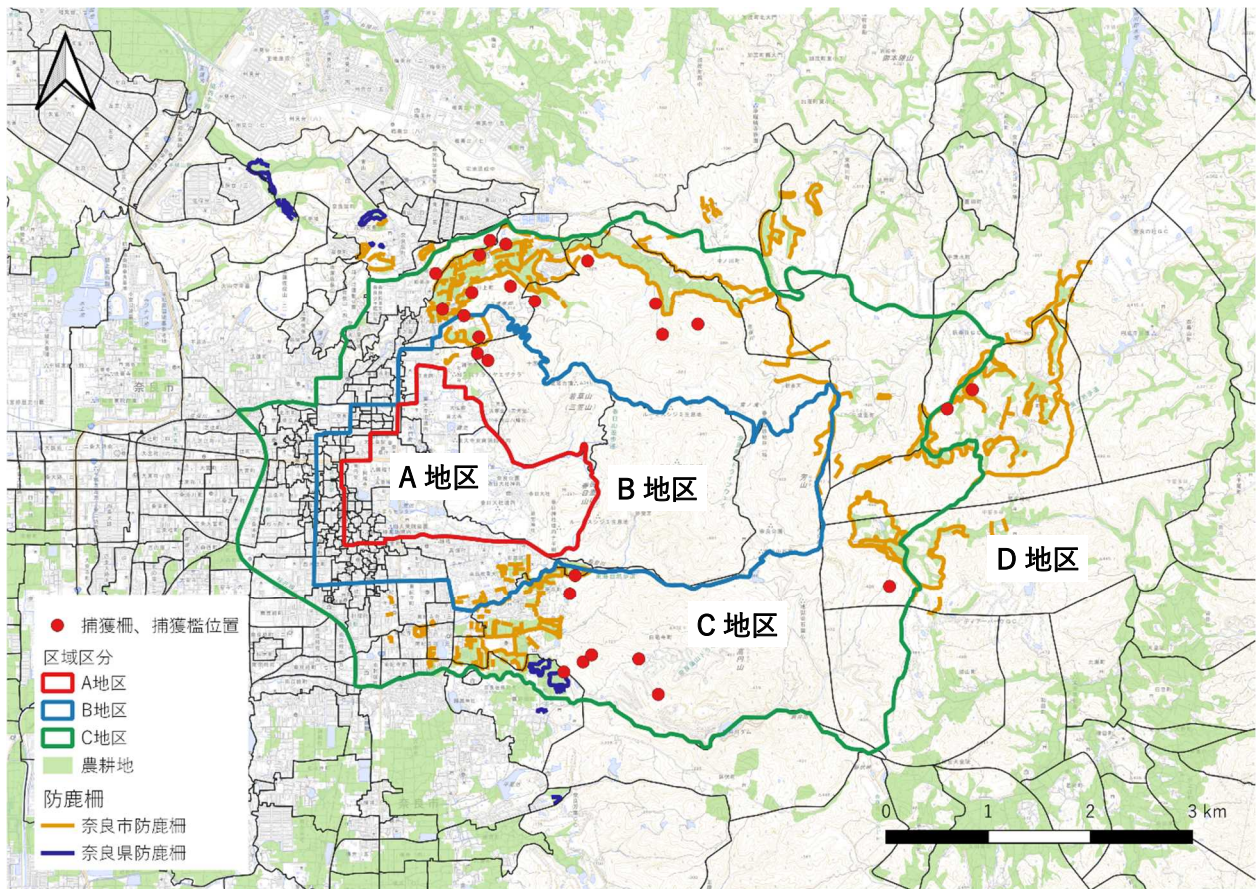


図1 愛護会が把握している捕獲柵・捕獲檻の位置

出典：奈良の鹿愛護会資料

※これらの捕獲柵、捕獲檻は農家等が所有、管理しており、シカの捕獲があった場合に愛護会職員が出動し鹿苑に収容する

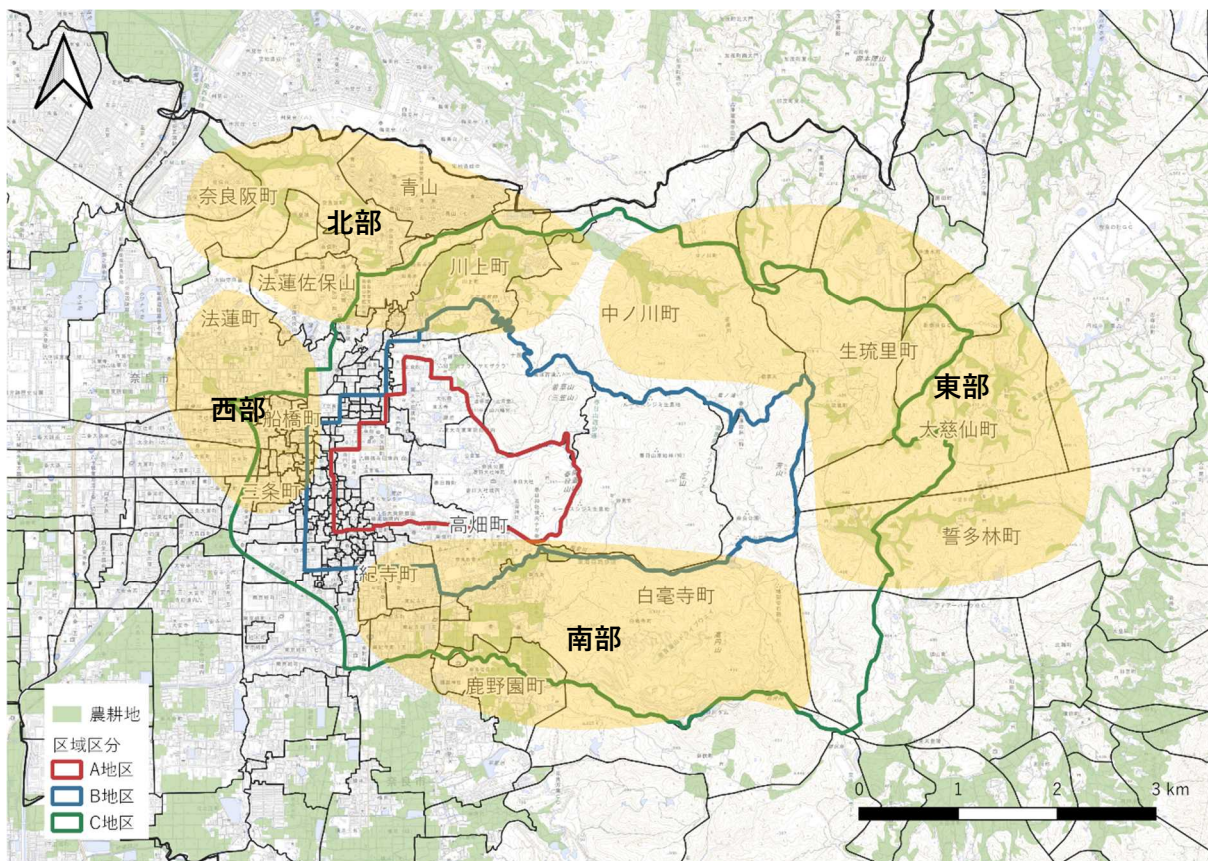


図 2 愛護会が出動した地域の概要

- ※ 「令和 5 年度 奈良市鹿害対策協議会総会 資料」より作成
- ※ 北部：川上町、奈良阪町、法蓮佐保山、青山町など
- 南部：高畑町、白毫寺町、紀寺町、鹿野園町など
- 西部：法蓮町、三条町、船橋町など
- 東部：中ノ川町、生疏里町、大慈仙町、誓多林町など

【参考：D 地区における捕獲状況】

平成 29 年度から「奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画」に基づき、管理地区（D 地区）を対象に、農業被害が生じている地域において農業被害を起こしたと考えられるシカの捕獲を行っている。年度別の捕獲頭数は表 4 のとおり。

表 4 管理地区（D 地区）における捕獲頭数

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
捕獲地区数	2	6	7	7	8	8	9
捕獲頭数	19	120	140	140	160	160	180 予定

※捕獲地区：田原地区、東里地区、柳生地区、大柳生地区、狭川地区、精華地区、東市地区、帯解地区、鼓阪地区